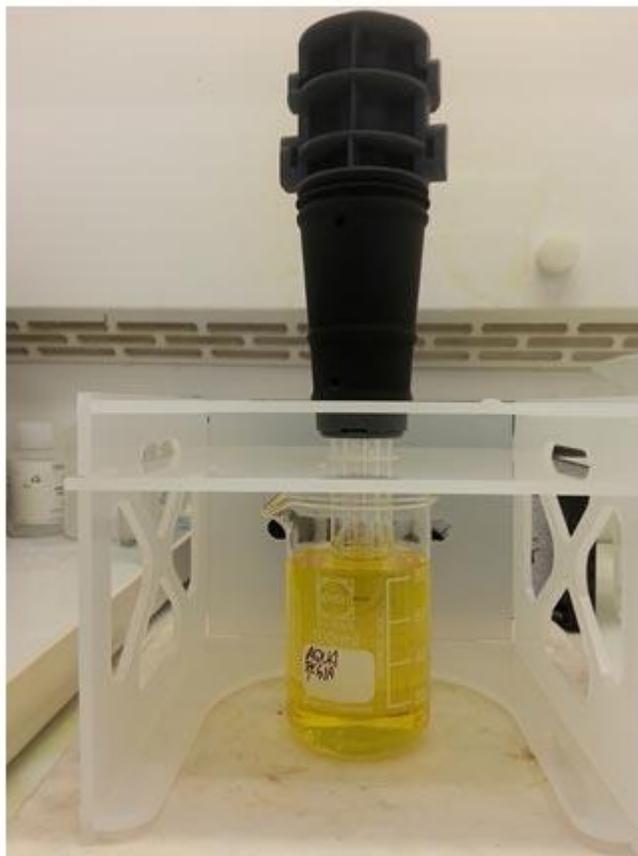


Agilent 5100 ICP-OES 用トーチスタンドにより洗浄プロセスが容易に

Agilent 5100 ICP-OES の装置で高マトリックスサンプルを頻繁に分析するラボでは、複数のトーチが使用されています。これらのトーチは定期的なクリーニングが必要です。5100 ICP-OES の Easy-fit トーチを長くお使いいただくには、アウターチューブが変色するかインジェクタに目視できる詰まりが生じたら、トーチをクリーニングすることをおすすめします。

トーチクリーニングスタンドは、5100 ICP-OES の Easy-fit トーチを簡単かつ安全にクリーニングできる便利なツールです。以下のような利点があります。

- 安定したプラットフォームが、写真に示すようにトーチアセンブリ全体（アウターチューブ、ミドルチューブ、およびインジェクタを含む）またはインジェクタ/ベースアセンブリを酸性洗浄液中に吊り下げた状態でしっかり支えます。
- 酸性洗浄液の容器を囲う構造をしているため、洗浄液をうっかりこぼす心配がありません。
- 壊れやすいアウターチューブ/インジェクタ先端を、酸性洗浄液の容器底への接触による破損から守ります（特に、ガラス容器を用いてクリーニングする場合）。
- トーチ本体のエラストマー材の早期劣化を防ぎます。トーチ本体とトーチ支持プレートとの間にすき間が生じないため、酸性洗浄液から発生した酸煙への暴露を抑えることができます。

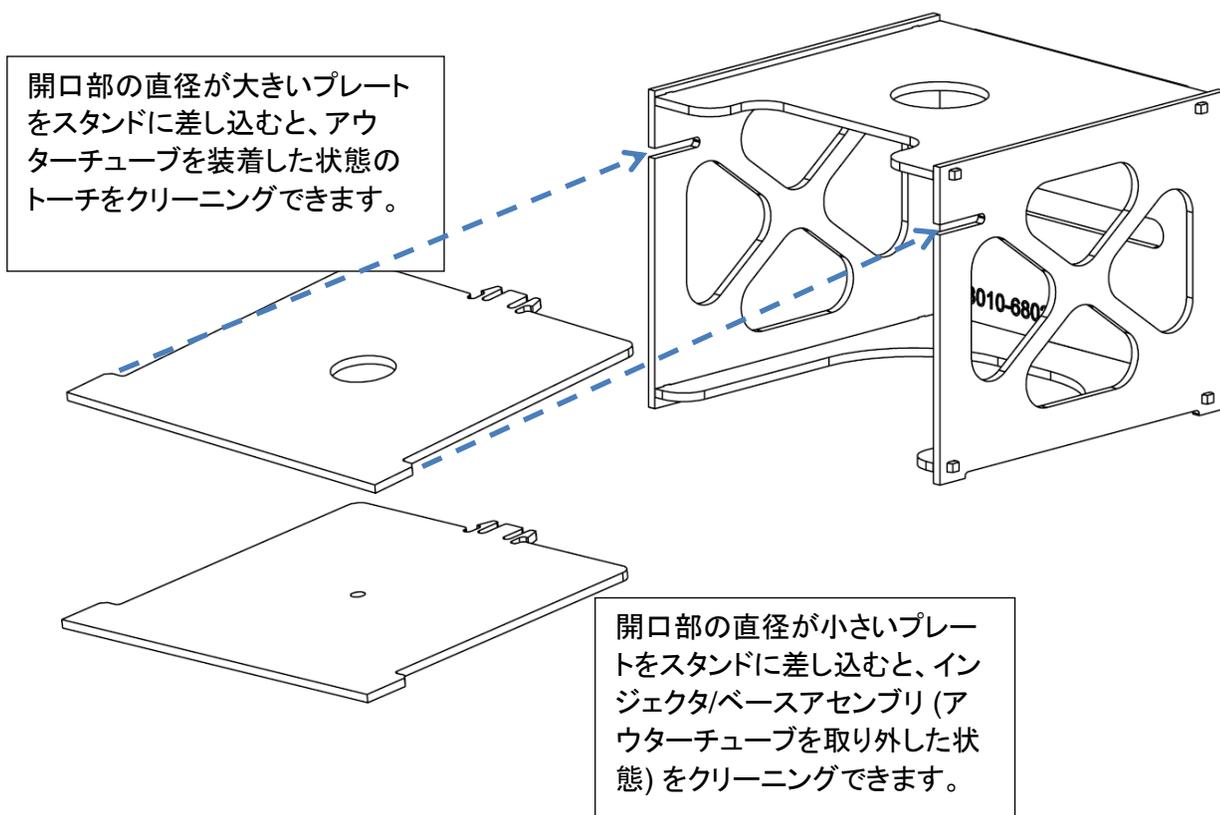


2通りのクリーニング構成に対応

トーチクリーニングスタンドに付属している 2 枚のプレートを利用することで、以下のクリーニングに対応できます。

1. 一体型トーチ（または、アウターチューブを装着した状態のデマンタブルトーチ）
2. デマンタブルトーチの固定インジェクタ（アウターチューブを取り外した状態） - クリーニングスタンドにインジェクタ支持プレートを取り付け





製品情報

5100 ICP-OES トーチ用のクリーニングスタンドには、取り外し可能なプレート 2 枚が付属しています。開口部の直径が大きい方のプレートは、アウターチューブを装着した状態のトーチのクリーニング用です。直径が小さいプレートは、インジェクタ/ベースアセンブリ (アウターチューブを取り外した状態) のクリーニング用です。5100 ICP-OES のすべての Easy-fit トーチにご使用いただくことをおすすめします。このクリーニングスタンドは、5100 ICP-OES の Easy-fit トーチ専用です。4100/4200 MP-AES の Easy-fit トーチには、プレート開口部のサイズが適合しません。

Agilent 5100 ICP-OES 用トーチクリーニングスタンド (p/n G8010-68021)、5100 ICP-OES 用、1 個



Agilent Technologies

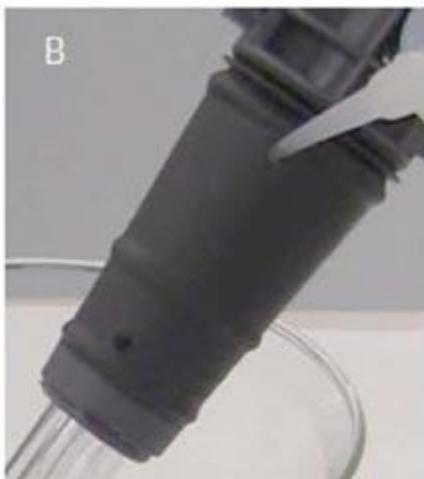
付録 – 5100 ICP-OES トーチの推奨クリーニング手順

5100 ICP-OES の Easy-fit トーチを適切にクリーニングするには、複数の手順を踏む必要があります。この付録では、推奨クリーニング手順を簡単に説明します。詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

1. トーチローダーからトーチを取り外し、アウターチューブ/インジェクタを 50 % 王水溶液に浸します。このとき、石英がプラスチック製ベースのすぐ下まで王水溶液に浸かるようにします。プラスチック製トーチベースに王水溶液が触れないようにしてください (以下の写真 A および B を参照)。
2. デマンタブルトーチをご使用の場合は、アウターチューブを取り外し、50 % 王水に完全に浸すことができます (以下の写真 C を参照)。



3. 浸漬後、以下の写真に示すように、洗浄びんでトーチの内側および外側に脱イオン水 (18 MΩ.cm) で十分に洗い流します。洗浄水が石英製チューブを通してガス入口およびボールジョイントコネクタから流れ出るように、30 秒以上すすいでください。



4. 3つのガス供給口 (ベース部の2箇所およびボールジョイントコネクタ) からきれいな圧縮空気または窒素を吹き付けて水分を飛ばし、トーチを乾かします。水分を完全に除去してください。
注: オープンでの乾燥は、効率に劣り、プラスチック製ベースを損傷するおそれがあるため、おすすめしません。



5. トーチが乾いたら、トーチローダーに元どおりに取り付けます。



5100ICPOES-Dec2015

アジレント・テクノロジー株式会社

0120-477-111